

平尾地区

令和4年10月8日 (平尾自治会館)

No.	質問内容	回答
1	台原バス停のベンチが撤去され、高齢者の多い平尾地域では、杖をついて長時間バスを待っている姿を見て忍びないとの声が多数ある。ベンチの再度の設置を希望する。	一部破損があり危険であったことから令和4年6月17日に撤去したが、令和4年7月23日に再設置している。
2	4丁目の交差点で、通学路にもなっているのに信号機が無く、とても危険である。信号機を設置して欲しい。	信号機を管轄する多摩中央警察署に長らく交差点信号機の設置を要望しているが、残念ながらこれまでのところ設置されていない。そのため市では、カラー舗装や原則マーク、ポストコーン、注意喚起看板の設置などの対策を進めてきたところだが、今後も多摩中央警察署に信号機の設置の要望を継続する。また、一時停止違反等の取り締まりについても要請していく。
3	第三文化センターで食事の支援活動をしているが、メンバーの高齢化が進んでいる。活動で使うものを以前は文化センターに置かせてもらっていたが、現在は持ち帰るようルールが変わった。高齢者には負担が大きいため、使うものの置き場所を作る等の対応をとって欲しい。	ご要望として承ります。公平性等の観点からルール作りをしているはずだが、団体によって備品の大きさや重さも違うため、まったく一律で同ルールの適用は確かに難しい面もあると思われる。何らかの対応が取れないか検討するよう担当課に指示する。
4	八百屋や魚屋が閉店し、スーパーヤマザキも撤退予定で、平尾地区の生活が不便になってきている。商店街の家賃が高くお店の出店が難しい実態もあるようだ。平尾地区について現状を変えていくような再開発の予定はありますか。	「再開発」ということでいうと、今後のハード整備の実施予定はない。 商店街の衰退については、あくまで個々の商店の経済活動になってくるので、原則として、市が家賃を補助する等で直接関与するものではない。管理するJKKは家賃を下げる予定はないとの経営判断とのこと。 ただ、市内の交通利便性等は上がってきているとはいえ、買い物難民・交通難民のような状況となってしまう方について、福祉施策として市民の生活を守っていかねばならない。 そうしたことから、バスは年間1億円を市が負担し、近隣での買い物が難しい方の移動の保障をしている。また一方、スーパーヤマザキの撤退については、間を置かずに生鮮食品を購入できるような店舗を出店されるよう、直接スーパーヤマザキの社長・JKKの理事長に申し入れをした。協議会も立ち上げ、自治会や関係者で次の施策を検討している。固定店舗が入る見込みが立つまでは移動販売も検討の素地にあがっている。しばらく見守っていただきたい。 また、分譲住宅の建て替えについては賛成の決議がとれないと進まない。市はあくまでニュートラルな立場。建て替えが決まり、平尾地区全体の利便性向上や一定の公共性が認められれば市も協力していきたい。ただ、現状として、平尾センター地区まちづくり協議会がどういった方向性でまちづくりを進めていくのか検討しているが、分譲住宅の管理組合との合意等は取れていない。
5	生協も撤退予定がある。ゴミ袋と粗大ごみの券を平尾出張所で扱って欲しい。	ご要望として承ります。

No.	質問内容	回答
6	台原のバス停にベンチを設置していただいたとのことだが、ベンチがないバス停がほかにもある。お年寄りにとっては杖をついて待つのは大変なこと。署名も集めてきたので考慮していただきたい。	ご要望として承り、担当部署に確認します。管理上ベンチが置けない場所があることもご理解いただきたい。
7	No.2と関連する。栗平方面とつながる坂道近くに住宅が増え、小学生が増えている。信号設置までにしばらく時間がかかるようであれば、カーブミラーをつけて欲しい。	現場の状況はよく分かっているため、歩行者用信号ではなく、交差点用のしっかりと信号機を設置して欲しいと警察には要望をし続けている。 信号機に代わるものはポールを立てたり、センターランプ(回転灯)を設置する等ケースバイケースで付けているが、カーブミラーについては、死角を考慮せずに交差点に侵入する車があり危険が増す場合もある。担当課に現場を確認させて対応を検討する。
8	シルバーパスで新百合ヶ丘行きのバスに乗ると、乗るバスによってはシルバーパスが使えない場合があるが、どうなっているか？	川崎の市営バスは難しいのではないかと。小田急バス(民営のバス)で言われたということであれば、担当課で確認してご連絡します。
9	避難所の開設について、台風など事前に開設が想定可能な場合は市の職員がカギを開けてくれると思うが、不測の緊急事態の場合は地域住民が開けなければいけない。カギの保管場所が避難所から離れていて分かりにくいいため、見直して欲しい。	保管場所の見直しについては検討する。 阪神淡路大震災の際に行政では対応しきれなかった経験から、公助がたどり着かない当初の対応については自主防災組織が対応をするように整備が進んだ。水災害は想定できるため市職員が開けるのが原則、震災はいつ来るか分からないため、有事には非常のキーボックスが開くように設定されているため一番最初に到着した方に開錠に協力いただくことになる。 なお、お話の中にあったJアラートが鳴るような緊急事態(ミサイル発射等)には、避難所は地下施設ではないため、また時間も無いため、国民保護法の計画に基づき、強固な(できれば地下)建物に逃げてください、窓のない部屋の奥の方まで逃げてくださいようお願いしているところ。
10	平尾幼児教室跡地に障害福祉の施設が入るということで事業者選定に入っていると思うが、進展を教えてください。	事業者は決定している。近いうちにご報告させていただきます。